

マーケットの動き（2025年4月14日～4月18日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。
週前半は、トランプ米政権の関税政策に対する過度な警戒感が後退したことから、国内株式市場は上昇しました。その後、米半導体大手が対中輸出規制強化に対して費用計上するとの発表を受け、半導体関連株が売られる場面もありましたが、週後半には台湾半導体メーカー大手の決算が好感されたことなどから、株価は再び上昇しました。

投資環境見通し（2025年4月）

国内株式相場は下値を切り上げる動き

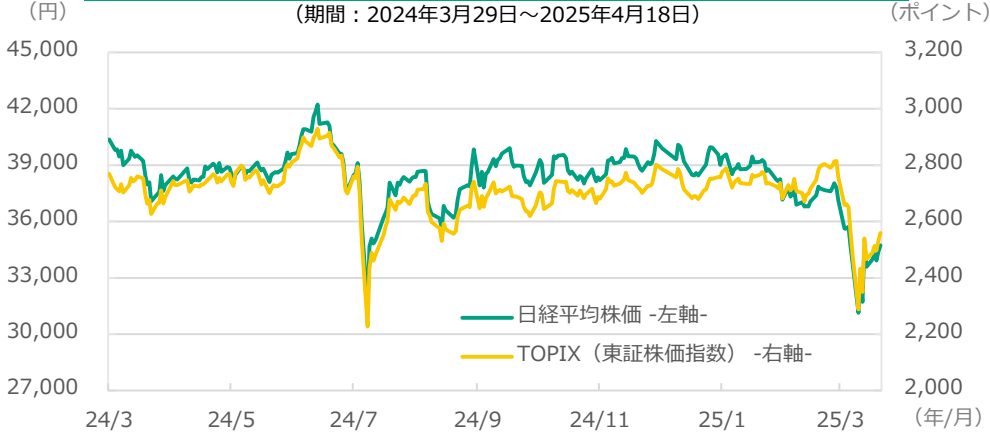
企業業績については、所得環境の改善から個人消費が回復するとみられる一方、国内長期金利の上昇や米国関税政策の不確実性が下押し要因とみられます。国内株式相場は、海外情勢を巡る先行き不透明感が広がる中、国内長期金利の上昇もあり、当面は変動率の高い展開になるとみられます。ただし、自社株買いや新NISAなどを通じた個人投資家の買いに支えられる展開の中、次第に下値を切り上げる動きになるとみています。

	4月18日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,559.15	3.74%	▲8.06%	▲4.83%	▲4.42%
日経平均株価	34,730.28	3.41%	▲8.23%	▲10.91%	▲8.80%

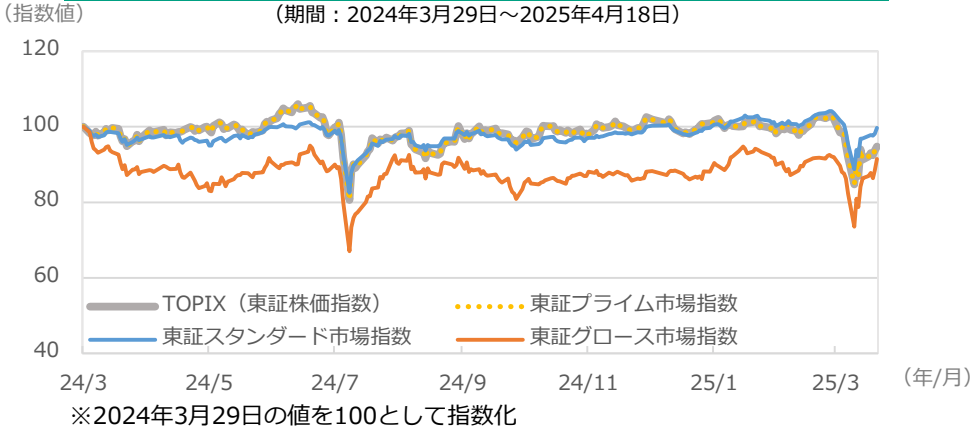
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202504_outlook.pdf

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2024年3月29日の値を100として指数化
※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>